

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成27年						平成28年															
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~2日	10月 ~9日	10月 ~16日	10月 ~23日	10月 ~30日	11月 ~6日	11月 ~13日
カンピロバクター	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	116	189	214	150	101	35	21	16	26	20	13	20
病原性大腸菌	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	150	157	240	182	166	51	33	46	47	50	41 (49)	49
腸管出血性大腸菌	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	1	0	2	0	0
サルモネラ	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	12	4	19	21	12	2	2	3	4	5	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	19	32	14	24	23	3	4	5	7	8	2	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	20	27	24	19	19	3	8	1	2	4	3	5
腸炎ピブリオ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	3	1	9	10	9	1	0	1	0	2	0 (1)	0
ロタウイルス	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	29	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
アデノウイルス	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*先週のその他の1件はプレジオモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第45週(11月7日~11月13日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	2		2	1	1		1
三類	0	発生なし	0							
四類	5	つつが虫病	4	1	1			1	1	
		レジオネラ症	1			1				
五類全数	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第45週 11/7～11/13)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点医療機関から、30人(定点当たり0.81人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告があり、前週と比べて約1.7倍に増加しました。来週にも流行開始の目安である定点当たり1.0人を超えると予測されます。

また、11月14日(第46週)に、広島市で今シーズン初めてのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖が報告されています(安佐南区の小学校)。

これから寒くなってきますので、健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防に努めましょう。

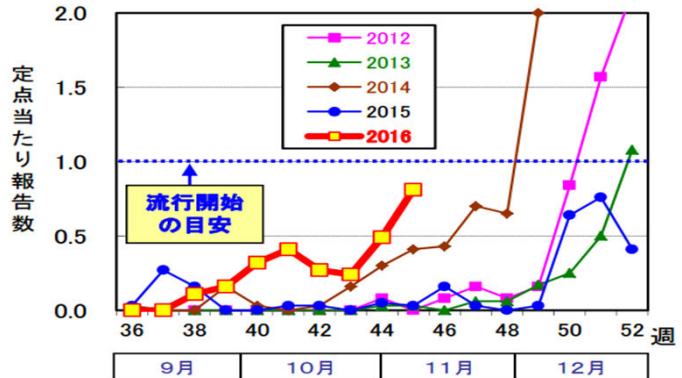
2. 感染性胃腸炎

定点当たり19.2人と、前週の約1.7倍に増加しました。過去10年間の同時期と比べて最も高い値であり、本格的な流行となっています。

また、感染性胃腸炎の集団発生も5件報告されており、集団生活の場では、特に注意が必要です。

手洗いの励行や便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号
フィル	インフルエンザ	30	0.81	0.13	▲	小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.85	
小児科	咽頭結膜熱	7	0.29	0.33	▲	眼科	RSウイルス感染症	8	0.33	0.74	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.00	1.29	▲		急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	461	19.21	5.92	▲		流行性角結膜炎	4	0.50	0.81	
	水痘	13	0.54	1.02	▲	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	21	0.88	0.48	▲		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	3	0.13	0.18	▲		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.26	
	突発性発しん	3	0.13	0.48	▲		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.14	▲		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.03	▲						

急増減	増減	微増減	横ばい	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	ほとんど増減なし
▲	▲	▲	▲				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	131	男性(80歳代)
4	つつが虫病	1	1	男性(40歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	女性(50歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(39.0) 発疹 口内炎	5	女	2016/10/03	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
ヘルパンギーナ	発熱(39.5) 発疹 口内炎	1	女	2016/10/01	糞便	コクサッキーウイルスA10型
流行性角結膜炎	発熱 結膜充血	9	男	2016/09/14	結膜擦過物	アデノウイルス4型
その他の疾患	発熱(39.0)	0	男	2016/09/17	咽頭拭い液 糞便	Eコーウイルス18型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載